

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年3月13日

【評価実施概要】

事業所番号	2773800889
法人名	特定非営利活動法人 すみれ
事業所名	グループホームすみれ
所在地	羽曳野市野々上2-31-2 (電話) 072-937-8290
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 2月 21日

【情報提供票より】(平成 19年 12月 27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤 5人, 非常勤 8人, 常勤換算	3.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨 造り		
	3階建ての	1階 ~	3階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	31,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 300円
	夕食	450円	おやつ 50円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要 (平成 19年 12月 27日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	1名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 80歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	貴志クリニック、くまざき歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは長年福祉の現場を経験した理事長が、認知症高齢者に、より家庭的な安堵感のある生活を、という思いから民家を改修し、5年前に開設したグループホームです。近くにはお寺や公園もあり、ホーム前で日向ぼっこをしていると、花の手入れ方法を教えてくれる方がいる等、地域に溶け込んだ生活を送っています。また運営推進会議を開催して自治会役員や民生委員との連携が密接となり、地域の盆踊りに浴衣を着て参加しています。その他に地域住民が踊りなどでホームの行事にも参加し、利用者を楽しませてくれています。また、ホームのことを地域住民が良く知っており、利用者が散歩に出かけると手作りの野菜を持たせてくれるなど、地域とのつながりが確立しています。さらに、シーツ交換と音楽療法など、それぞれの分野で活躍してくれる無償ボランティアが定着しています。運営推進会議を通して地域密着型サービスが成功し、無償ボランティアも定着しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	外出機会の少ない利用者が週1回以上外出できるような支援について、利用者一人ひとりの状態を見極めながら外出支援に取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	同業者との交流を通じたサービスの向上について、年1回のグループホーム全国大会に参加しています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、職員は外部研修を受講しています。羽曳野市のグループホーム事業所は半年に1回集まり、空き部屋の情報を交換しています。またその他に年1回市内の全福祉施設が集まる機会があり参加しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議においては、介護相談や利用の問い合わせ件数を報告すると共に、ホームの取り組み状況について発表する場となっています。自治会、民生委員、市役所との連携が深まり、利用者が地域の行事に参加しやすくなっているほか、地域の人もホームの行事に参加しています。また、市役所の職員が出席しているため、ホームのことを市民へPRすることができ、利用申し込みも多々ありますが、空きがない場合は他の施設等を紹介しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会を年に1回(6月)開催すると共に、家族がホームへ気楽に来訪できるよう配慮しています。また、意見箱を設置しているほか、管理者は携帯電話を持っており、家族との連絡を取っています。申し込みがあればまずホームを見学してもらい、その後希望者の家庭を訪問し、何を大切にされているかなど、ライフスタイル等を確認しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会、民生委員等との連携が深まっており、地域行事の入場券を自治会の方が届けてくれます。また地域の方もホームの行事に参加しています。ホームの存在が地域に浸透してきているため、散歩で出かけた際に採れた野菜を提供してもらうこともあります。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『歳をとってたとえ認知症になっても、お互いに個性豊かに生きがいを感じて生きていけるよう、地域の人と協力しあって地域に貢献できる NPO 法人にしよう』という理念のもと、地域活動や交流を目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議やミーティングの際は、『日々の時間の流れを大切に、生き生きとした元気ある暮らしを育む』という運営理念を職員同士で確認し、目につきやすい玄関やエレベーター内にも掲示しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームで自治会に加入し、回覧板を通して近隣との交流があり、お互いに挨拶を交わせる関係になっています。自治会や民生委員からの行事の案内をもらっており、祭りや盆踊りには利用者も浴衣を着て参加しました。法人の理事長が近隣の公民館で認知症について講演する機会もありました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果で示された事項について、家族・職員に報告し、具体的な検討を行い改善に取り組んでいます。今回の自己評価については理事長、管理者が中心に作成したものに職員の意見を反映させています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成しています。また、会議録で出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。運営推進会議は2ヶ月に1回開催しています。また運営推進会議を通して、地域の催しに参加させてもらったりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市とは日ごろから相談できる窓口を確保しており、何かあれば電話やメールでこまめに相談しています。運営推進会議には市の高齢福祉課からの参加も得ています。また市からは、グループホームの入居希望者についての相談を受けるなどの連携もあります。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書と共に利用者一人ひとりの生活状況報告を兼ねたものを「すみれ便り」と称し1ヶ月に1回送付しています。また全体の「すみれ便り」は年3回発行し、家族会の交流や活動報告、ボランティア紹介、行事予定などについて家族へお知らせし家族に喜ばれています。家族が面会に来られた時には近況を伝え、相談にも応じています。また1年に1回、利用者のホームでの生活をビデオ撮影し、ビデオレターとして家族へ送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置し、家族会、運営推進会議、また面会時に家族の意見を聞くように努めています。年1回家族会を開催し意見交換をしています。今年度の家族会は利用者と共に宿泊施設で開催し、温泉や食事を共に楽しみ、気軽に話し合える関係を確認していました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新人職員への研修は法人事務局で行い、グループホームの理解とスムーズになじめるような工夫をしています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことであり、今後も異動を最小限に抑えることが期待されます。職員の異動時には「おたより」にて報告を行い、家族の訪問時に紹介しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに職員が参加する機会を設けています。年間のおおよその計画も立てており、毎月内部研修を実施し、全ての職員が参加できるように配慮しています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会からの案内や、市の研修を活用し、外部研修にも参加しています。また、研修会に参加した職員は研修報告書を提出しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入しています。その他に羽曳野市のグループホーム部会に参加しています。また、羽曳野市のグループホーム連絡協議会でのネットワーク作りの準備中です。経験のある他のグループホームと連携し、実習を受け入れたり、逆に実習生を送り出したりして交流を深めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に気軽に見学してもらったり、入居後は家族の訪問を密にってもらったりする等、利用者や家族に安心感を持ってもらえるように工夫しています。現在ホーム内を改修中で間もなくデイサービスも開始予定です。今後の入居については、通所利用を通して徐々にホームの雰囲気になじめるよう、入居に至るまでの関係作りを目指しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共に暮らすということを大切に、個々の特性を發揮できる機会を作っています。料理の好きな方には野菜の切り方や味付けを教えてもらったり、踊りの好きな方には手ほどきをしてもらったり、大正琴の好きな方には演奏してもらったり、梅干や漬物の漬け方を教わったり、裁縫の好きな方には名札付け、ゴム通し、雑巾縫いなどを一緒に行い、お互いに支えあう関係作りを目指しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者一人ひとりに声かけを行い、思いや希望についての把握に努めています。利用者の言葉や表情から読み取り、また家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでの経緯等を記述しています。転倒の危険のある利用者には、家族の希望で特別な靴を作ってもらえるようホームが支援し、安定した歩行につながりました。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居前のアセスメントや月1回のカンファレンスに全職員が参加し、その意見を参考にしながら介護計画を作成しています。また家族からの意見も反映させています。アセスメントシートも作成し、利用者の生活歴やライフスタイルについて記載し、希望に沿った生活を取り入れています。作成した介護計画については、利用者や家族による同意のサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、定期的には6ヶ月毎に実施しており、状態の変化が生じた場合は、その都度見直しを行い、変化に応じた介護計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	地域住民の要望により認知症 についての講演や、日常的な 相談に対応しています。また、 入居に関する情報提供を行い、 介護保険制度についての相談 にも対応するなど地域のニーズ を把握し、今後の支援について も検討しています。またデイサ ービスの開始に向けて取り組 んでいます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	内科医や歯科医の定期的な往 診と、緊急時24時間連携体制 が取れるよう支援しています。 また、家族や利用者の希望に よりにかかりつけ医の受診が できるよう対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびにか かりつけ医等と繰り返し話し 合い、全員で方針を共有してい る	これまでに看取りを経験してい ます。どうしてもホームで暮ら したいとのことから手術後に ホームへ戻り生活された利用 者もいました。法人内の別の ホームと看取りについての相 互研修も実施しています。ま た、ホームでは看取りの指針 や意思確認書を作成していま す。主治医の説明を家族や職 員がその都度受けて、確認を 取りながら実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際、プライバシーに関する意識向上を図るようにし、また日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急がすことなく支援しています。ホームとしての日課はありますが、利用者の意向に合わせて支援し、見守ることにしています。健康状態に配慮しながらホーム独自の「すみれ体操」に取り組み、散歩や買い物に出かけています。食事でも利用者一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりと摂れるよう配慮しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者から搬入しています。食事は3食共にホーム内で調理し、できたての食事を提供しています。利用者も野菜を切ったり味付けを手伝ったりと、得意なことで食事作りに参加しています。週2回は近所のスーパーへ買出しに出かけ、利用者の好みのメニューを提供しています。朝食はお粥とパンから選択でき、職員も共に同じ食事を摂りながら見守っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については体調や状態を見ながら支援して週2、3回入浴できるようにしています。希望されれば毎日でも入浴できます。リフター（移乗介助機器）の利用もあり、時間や長さも利用者に合わせて配慮しています。3割の方は週3回入浴されていますが、回数については検討中です。	○	入浴については、基本的に週3回は入浴できるように取り組みが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることを大切に、楽しみを探しています。当番を決めてリビングに表示し、花に水をやる方、掃除をする方、食器洗いをする方など各役割に名前が書かれていました。朝から掃除機をかける方、モップをかける方、洗濯物のしわ伸ばしをする方、利用者それぞれに役割や楽しみごとをもって生き生きと生活できるよう支援し、見守っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出については日々の買い物、散歩、年間の行事予定に沿ってドライブに出かけたり、桜や菜の花を鑑賞したりして楽しんでいます。また、ホーム周辺の掃除を利用者と一緒に行っています。近隣に公園や寺院があり、子どもたちとの交流もあります。ホーム前のスペースに椅子を用意し、日向ぼっこができるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	民家を改造したホームであり、玄関は通常鍵をかけています。ホーム前の道は歩道がなく車の通行量も多いので、危険が伴います。利用者が外出を希望されるときは職員が必ず付き添い、サポートしています。家族会で鍵をかけることについて了承を得ています。	○	職員の体制が充実している時間帯には玄関を開錠するなど、職員間で安全性を十分確認した上での開錠に向けた工夫が求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時訓練については、利用者も含めて定期的に避難訓練を行っており、消防署の協力も得ています。非常用飲料水や非常用食品などの備蓄もあります。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を把握しています。旬の野菜を中心にバランス良く献立を立てています。体調面に配慮した食事量も考えており、提供した食事内容についてはおよそのカロリー計算がされています。肥満気味の利用者については盛り付け等で工夫をしたり、カロリーの低い食材を使用したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング兼食堂は採光も明るく、周辺の山並みが眺められます。トイレ、お風呂はバリアフリーとなっており、車椅子対応のトイレも設置されています。また、壁にレールを引いて作品を飾ったりする工夫が見られました。玄関周辺にはパンジーや桜草など季節の花が咲いていました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は利用者が自宅で使用していたベッドやタンス、テレビ、本棚、飾り棚を持ち込み、また家族の写真や自分の作品を飾っている方、観葉植物を置いて手入れを楽しまれたり、居心地の良いように工夫されたりしていました。乾燥を防ぐため、夜間濡れタオルをかけ、加湿器にて湿度を保つ工夫をしています。		